

企業化状況の実態調査票

記載例

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

助成事業年度	平成 27 年度	企業名	(株) ◎ ◎ ◎ ◎ ◎		
事業内容	長野県産果実を活用した機能性飲料の開発				
資本金	2,000 万円	従業員数	75 人	売上高	375,000 万円
株式の上場あるいは公開の有無	1 有り (年 月) ○2 無し				

1 令和2年度において該当する項目がありましたら、○印をしてください。

助成事業の成果に基づく製品の販売又は譲渡	○あり・なし
助成事業の成果に基づき取得した特許権、実用新案、もしくは意匠権の譲渡又は実施権の設定	あり・なし○
上記に掲げるもののほか、助成事業の他への供与（助成事業で得たノウハウを他へコンサルティングを行い収益を得た場合など）	あり・なし○
製品化の状況 事業化状況 (どの段階か ○印をつけて ください)	1 第1段階 製品販売に関する宣伝等を行っている。 2 第2段階 注文(契約)がとれている。 3 第3段階 製品が1つ以上販売されている。 4 第4段階 継続的に販売実績があるが収益はない。 ○5 第5段階 継続的に販売実績があり収益もある。

2 1について「あり」の場合は、次表に記載してください。「なし」の場合は3へ進んでください

試作品又は製品の名称 (産業財産権の譲渡等も含む)	販売 数量・単価	販売又は譲渡 金額(円) A	総収入を得るに 要した額(円) B	本年度収益額 (円) A-B
長野県産果実による機能性飲料	57,500 本 300 円/本	17,250,000	15,434,310	1,815,690

注) 「販売又は譲渡金額」の算出根拠資料として、試作品又は製品の原価計算書(次表を参考)、生産及び販売実績書、特許権等の譲渡契約書の写し等を添付してください。

(参考)【原価計算書】

科 目	金 額 (円)	備 考
A 原材料費	6,276,750	
B 外注加工費	1,158,000	
C 労務費	5,029,240	
D 工場経費	2,513,920	
(1) 電力費		★一致します。
(2) 燃料費		
(3) 修繕費		
(4) 消耗品費		
(5) 保険料		
(6) 減価償却費	2,513,920	
(7) 福利厚生費		
(8) その他の経費		
E 当期総製造費用 (A+B+C+D)	14,977,910	
F 期首仕掛品棚卸高	3,690,000	
G 期末仕掛品棚卸高	3,450,000	
H 当期製造品製造原価 (E+F-G)	15,217,910	
I 一般管理費及び販売費	216,400	
J 総原価 (H+I)	15,434,310	

3 助成時テーマにおける令和2年度の取り組み内容を教えてください。

<p>① ○○展示会に出展。ここで得られたニーズをもとに、同商品よりも「つぶつぶ感」を加えた新商品を考案し、開発に取り組んだ。</p> <p>② また、○○デザイナーと連携し、新商品パッケージを制作した。</p> <p>③ 現在、県内○○スーパーとの商談が進んでいる。</p>
--

4 助成事業における自社内への波及効果

(製品化に至らなくても、生産性や技術力の向上につながった事例等を具体的に記入してください。)

<p>① 試験場での分析評価データを取得できたことで、商品説明に説得力が生まれ、バイヤーとの交渉がしやすくなった。</p> <p>② 社内の飲料成分等に対する知識レベルが向上した。</p> <p>③ 新たな抽出技術開発に取り組んだことにより、飲料以外への応用が広がった。</p> <p>④ その他、助成事業による成果をご記入ください。</p>

雇用人数	増加 維持	人 人
------	----------	--------

助成事業による、雇用状況を記載してください。

5 助成金制度の利用満足度

<p>1 利用して良かった</p> <p>2 普通</p> <p>3 利用したが不満が多い</p>	理由をご記載ください
---	------------

6 意見・要望 (自由に記入ください)

--